

機械の共同利用の取組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県伊予郡砥部町 鴨滝			
協定面積 7.8ha	田 (5%)	畑 (95%)	草地	採草放牧地
	水稻	野菜・果樹		
交付金額 54万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農道・水路管理費		20%
		共同利用機械購入等費		15%
		多面的機能増進活動費		2%
役員報酬・その他		13%		
協定参加者	農業者 17人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は砥部町の南部に位置し、標高400～550m付近の傾斜地に位置する中山間地域で、農家戸数17戸、農用地面積7.8haで、水稻及び果樹等の栽培を行っている。

平成12年度の中山間地域等直接支払制度の開始を契機に集落協定を締結し、農業生産活動を継続してきたが、近年、農業従事者の高齢化により農地の維持管理が困難となることが懸念されている。

第2期対策では、高齢化や担い手不足の進行と地域コミュニティーの希薄化が懸念される中、地域ぐるみによる農地保全と地域活性化について皆で話し合った結果、農地を耕起する機械（コンボ）や動力噴霧器等を整備し、農作業の共同化を図ることとし、併せて、オペレーターの育成に取り組んできた。

3. 取組の内容

第3期対策においても、計画的な機械の整備・更新を行うことにより、農作業の共同化・経費の削減、効率的な農業生産を図ることとした。

また、共同機械の有効利用に加え、水路・作業道の共同管理や景観作物の作付け等の自立的かつ継続的な農業生産活動に取り組むことにより、協定農地の維持管理・多面的機能の確保を図るとともに、活力ある地域づくりを目指すこととしている。



【機械の共同利用】



【農道・水路維持管理】

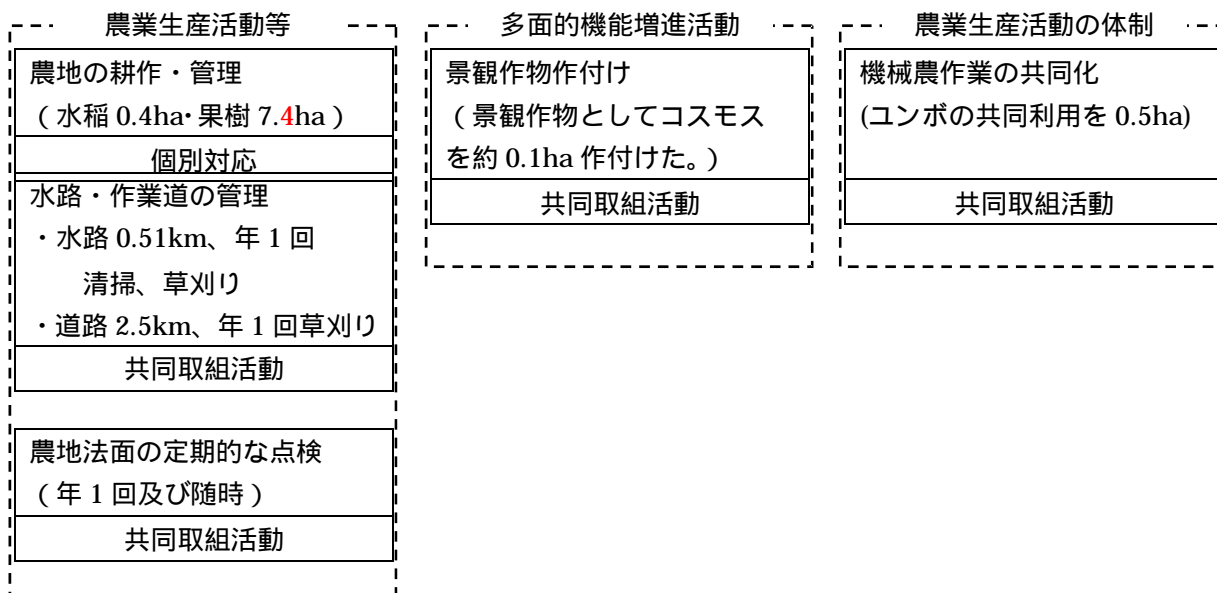
[集落の将来像]

農業従事者の高齢化・担い手不足により耕作放棄地の増加が懸念され中、農道・水路の管理や農地法面の崩壊を未然に防止するため、担い手中心に定期的な点検に加え、機械の整備・更新を図り共同作業の効率化を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

機械の共同購入、共同利用による農作業の効率化を図る。



4 . 今後の課題等

これまでの共同機械の整備等の取り組みを通じ、経費の削減や効率的な農業生産を図ることが出来たが、高齢化・担い手不足が加速度的に進行する中で、地域活力が低下していくことが懸念されている。

今後は、引き続き、計画的な機械の整備・更新するとともに、オペレーターの確保・育成に努め、オペレーターや集落リーダーを核とした共同取組活動ができるような体制を維持することにより、水路・農道の共同管理、多面的機能の確保、耕作放棄地の未然防止等に積極的に努め、地域活力の維持・活性化を目指していきたい。

[第 2 期対策の主な成果]

機械・農作業の共同化
・ P C 0 7 ユンボを利用した農道・水路の維持管理
・ 動力噴霧器の共同防除作業
オペレーターの育成